



株主の皆さまへ

第 **118** 期

報 告 書

2017年4月1日 » 2018年3月31日

V a l u e &
Q u a l i t y



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

基本理念

VALUE & QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂々と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

株主の皆さまへ

TO OUR SHAREHOLDERS VALUE & QUALITY

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに第118期報告書をお届けします。

当期の日本経済は、前半は半導体や自動車、さらには産業機械に関連する輸出がけん引役となり、拡大基調を維持しました。

後半は引き続き外需が堅調な推移を示すとともに、国内設備投資も底堅い動きを見せたものの、暦年が変わると地政学的リスク、為替レート、米国の金利、国内の政治、さらには主要国間の通商問題など、不透明要素がより強く意識されるようになり、先行きに不安を残す状況が生まれました。

このような事業環境下、当社グループは最終年度となる第7次中期経営計画“New Valqua Stage Seven (NV・S7)”で掲げた戦略の完遂を強く意識し、足許の収益拡大を図るとともに、次なる中期経営計画“NV・S8”における健全で持続的な成長の実現に向け、企業基盤の整備・強化を推進しました。

今後もバルカーは、企業理念“THE VALQUA WAY”のもと、チャレンジに次ぐチャレンジにより新たな価値の創造を図り、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成30年6月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤利一



シール製品事業

売上高 **32,425** 百万円

売上高
構成比 **68.1** %



事業概況

先端産業市場に向けた販売の伸長に加え、機器市場・プラント市場に向けた収益拡大策の効果等により、売上高は324億2千5百万円（前年同期比13.3%増）、セグメント利益は47億4千1百万円（同63.2%増）となりました。

今後の展開

バルカーグループのコア事業として、グローバルな成長市場に向けての展開を加速するとともに、選択と集中を推進することにより、収益力の強化を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **12,446** 百万円

売上高
構成比 **26.2** %



事業概況

サプライチェーン整備の効果等により機器市場・プラント市場に向けた販売が拡大し、売上高は124億4千6百万円（前年同期比7.8%増）となったものの、原材料価格の上昇による影響やM&Aによるのれん償却の計上を反映し、セグメント利益は4億9千2百万円（同36.9%減）となりました。

今後の展開

生産拠点の拡充や新たな技術の獲得に向けて、M&Aも含めた成長投資を積極的に行い、業容の拡大と収益性の向上を図ってまいります。

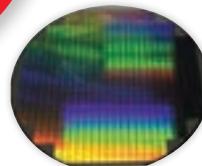
事業概況

前年同期におけるシリコンウエハーリサイクルの特殊案件の寄与が影響し、売上高は27億2千万円（前年同期比21.6%減）、セグメント利益は1億4千万円（同63.1%減）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における収益力の強化に加え、H&S（ハード&シールエンジニアリング・サービス）事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。

連結売上高
47,592
百万円



その他事業

売上高 **2,720** 百万円

売上高
構成比 **5.7** %

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2016年4月 1日 至 2017年3月31日	自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日
売上高	43,640	47,592
売上原価	28,344	30,076
売上総利益	15,296	17,515
販売費及び一般管理費	11,230	12,140
営業利益	4,065	5,374
経常利益	3,929	5,466
税金等調整前当期純利益	3,767	5,417
当期純利益	2,558	3,896
親会社株主に帰属する当期純利益	2,348	3,833

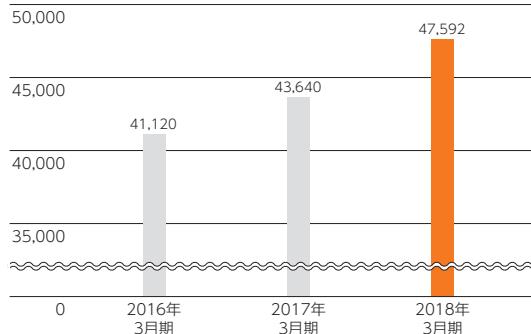
連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2017年3月31日	2018年3月31日
資産の部		
流動資産	25,026	27,262
固定資産	21,602	23,505
繰延資産	22	14
資産合計	46,651	50,782
負債の部		
流動負債	11,632	11,595
固定負債	4,168	4,595
負債合計	15,801	16,190
純資産の部		
株主資本	27,316	29,643
その他の包括利益累計額	1,955	3,394
非支配株主持分	1,577	1,554
純資産合計	30,849	34,592
負債純資産合計	46,651	50,782

売上高

単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

■ 営業利益 ● 営業利益率

単位：%



配当

	中間	期末	年間配当
2016年3月期	*6.0 円	*6.0 円	*12.0 円
2017年3月期	*6.0 円	45.0 円	—
2017年3月期期末配当金の内訳 普通配当30.0円 創業90周年記念配当15.0円			
2018年3月期	40.0 円	45.0 円	85.0 円

*2016年10月1日付で株式併合

中期経営計画 “NV・S8”

バルカーグループは、第119期（2019年3月期）より3か年の第8次中期経営計画“NV・S8”（New Valqua Stage Eight）を推進しています。

“NV・S8”においては、スローガンとして《「THE VALQUA WAY」のもと「H&S」を軸としたイノベーションで、健全で持続的な成長を目指そう》を掲げ、以下の4つの基本方針のもと成長戦略と企業基盤整備を行ってまいります。

1. コーポレートガバナンスのさらなる充実
2. 「選択と集中」による事業、機能の見極めと積極的な成長投資の実行
3. グローバルな収益基盤の拡大強化
4. 時代の変化を先取りした人材開発と企業風土の改革

“NV・S8”の主要経営目標数値は、以下のとおりです。

	“NV・S7”最終年度	“NV・S8”最終年度	3か年変動率
	2018年3月期	2021年3月期	
連結売上高	47,592百万円	55,000百万円	+15.6%
連結営業利益	5,374百万円	7,000百万円	+30.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,833百万円	4,800百万円	+25.2%
営業利益率	11.3%	12.7%	+1.4pt
ROE	12.3%	12.5%	+0.2pt

バルカーは、“NV・S8”の基本方針のひとつで“コーポレートガバナンスのさらなる充実”を掲げ、健全で持続的な成長の実現に向けた企業基盤の整備に努め、企業への社会的要請に応えています。

“NV・S8”の開始にあたり、コーポレートガバナンスの根幹である取締役会・監査役会の特徴、リスクマネジメント体制の要であるリスク管理委員会をご紹介します。

<コーポレートガバナンス>取締役会・監査役会

バルカーの取締役会・監査役会は、2つの特徴を有しています。

ひとつは、その健全性を保持するため、取締役6名中3名、監査役4名中3名の独立役員がおり、第三者からの経営監督がなされていることです。

もうひとつは、柔軟かつ多角的視点からの経営判断ができるよう、取締役6名のうち2名が女性である等、多様なメンバーで構成されていることです。

今後もバルカーは、コーポレートガバナンスのさらなる充実を図り、社会の、そして株主の皆さまからの信頼に応える経営を行ってまいります。

取締役会・監査役会の特徴

- ▶ 独立役員が過半数
- ▶ 多様なメンバー構成

独立役員 (社外取締役) 3名	社内 取締役 3名	+	独立役員 (社外監査役) 3名	社内 監査役 1名
取締役 6名 (うち女性2名)			監査役 4名	

<リスクマネジメント>リスク管理委員会

バルカーは前中期経営計画“NV・S7”からリスクマネジメントの強化を図ってきました。

その要となる“リスク管理委員会”は、国内外の事業環境の急激な変化と事業領域の拡大に伴って多様化するグループ経営上のリスクの一元管理を行うために設置されました。

“NV・S8”においては、事業領域のさらなる拡大と従業員数・拠点数の増加が見込まれています。

また、企業への社会的な要請が高まるなか、リスクマネジメントにおいてもその質が問われています。

リスク管理委員会は、バルカーを取り巻く環境の変化へ柔軟にかつ的確に対応し、積極的にリスクの芽を摘んでまいります。

リスク管理委員会の役割

- ①あらゆる企業活動に内在するリスクの洗い出しと評価
- ②ルール化を含む対策の策定
- ③モニタリング

会社の概況 (2018年3月31日現在)

社名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.
創業	昭和2年1月21日
設立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	18,688,733株
株主総数	8,806名
従業員数	425名 (連結 1,759名)
役員	(2018年6月20日現在)

取締役

代表取締役社長 兼 CEO	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	山根 啓
取締役 (社外)	関 忠行
取締役 (社外)	三木 緑
取締役 (社外)	関根 近子

監査役

常勤監査役	林 遙
監査役 (社外)	中根 堅次郎
監査役 (社外)	八戸 孝彦
監査役 (社外)	高橋 秀法

CEO=最高経営責任者
CCO=最高コンプライアンス責任者

執行役員

専務執行役員	小田 博志
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	青木 睦郎
常務執行役員	高 昭夫
常務執行役員	森田 信利
常務執行役員	櫻井 慎也
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	谷田部 麻美子
執行役員	立田 寛
執行役員	藤下 尚彦
執行役員	伏屋 克俊
執行役員	植木 聡

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所
(郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

(ホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法
電子公告
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



日本バルカー工業株式会社
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <http://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。